

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都千代田区九段北1-8-10

今週の注目材料 = 欧州・米国の景況感に注目

2023年4月17日

21日に4月のユーロ圏及び加盟主要国、米国のPMI(購買担当者景気指数)が発表されます。ECB、FRB共に追加利上げ期待が優勢となっていますが、米国は次回の利上げでの打ち止めが見込まれるなど、利上げの終着点が近づいている状況。物価は依然かなり高い水準にありますが、これまでの利上げによる景気鈍化などが警戒されています。今後の世界の景気動向、金融政策動向を見通すために近年重要視されているのがS&PグローバルによるPMI(購買担当者景気指数)です。速報性が高く、今後の景気動向への先行性もあるということで、相場への影響も大きなものとなっています。

まずは16時半のドイツPMI及び17時のユーロ圏PMIを見ていきましょう。ドイツPMIは前回3月の製造業PMIが44.7と2月の46.3から低下。景気の拡大・縮小の分かれ目とされる50を大きく下回り、2020年5月以来約3年ぶりの低水準となりました。ドイツの製造業PMIは昨年7月以来50割れが続いています。ドイツ製造業PMIの低さは、サプライチェーン問題の改善を受けた在庫遅延の解消や原材料コスト低下による投入コスト指数低下などによる前向きな形でのものもあります。というのも、在庫遅延や原材料コスト上昇は、一般的には好況による品不足によるものが多く、本来はプラス材料です。しかし、新型コロナの影響でサプライチェーン問題が広がったことによる入荷遅延やコスト拡大が目立っていました。これは明らかにマイナス材料となりますが、見かけ上はPMIを押し上げます。ここにきてサプライヤーのパフォーマンス改善が広がっており、PMIを押し下げ要因となっています。ただ、前向きなものだけではなく、物価高を受けた顧客の慎重な姿勢による余剰在庫とそれに伴う新規受注の減少も大きな材料となっています。サービス業PMIは53.9と好調。3カ月連続の50超えとなりました。

ユーロ圏全体でも前回の製造業PMIは47.3と冴えない水準になっています。こちらも昨年7月以来の50割れ継続です。サービス業PMIは55.0と好結果。速報時点では2月からの鈍化が見込まれていましたが、結果は大きく上昇。改定で少し調整が入りましたが、高水準となっています。雇用の伸びが目立ち、全体を支えました。

今回の予想はドイツ製造業PMIが45.5と、前回から少し改善見込みも、50を大きく下回った状況が続くという見通しです。ドイツサービス業PMIは53.4と前回から小幅鈍化見込みも、こちらは好水準維持が見込まれています。ユーロ圏製造業PMIは47.9、サービス業PMIは54.5と、ドイツ同様に製造業は小幅改善も50割れ、サービス業は小幅鈍化となっています。

サービス業がけん引する形で、ユーロ圏景気が支えられるようだと、追加利上げのハードルが下がり、ユーロ買いにつながると期待されます。製造業は依然厳しい水準ですが、サプライチェーン問題改善による原材料コスト低下の影響は、PMIを押し下げるとはいえ、悪い状況ではないため、サービス業PMIが強めに出た場合は、製造業の弱さはそれほど問題視されないと考えられます。13日の市場で節目の1.10をしっかりと上回ったユーロドルは、上昇の勢いが強まると期待されます。

米国の前回3月のPMIは製造業が49.2と50を下回ったものの、2月の47.3から改善しました。ユーロ圏同様にサプライチェーン問題改善を受けた原材料コスト低下による投入コスト指数の低下や、在庫遅延指数の低下(こちらも事実上の改善)の影響が見られ、50割れでも弱いという印象はあまりありませんでした。サービス業は52.6、全体を合わせたコンポジット(総合)指数は52.3と強めの結果となりました。製造業に比べて景気変化

に敏感なサービス業の伸びは、需要拡大の動きを反映したものと好印象を与えました。

今回の予想は製造業が49.2と前回と同水準。サービス業が51.5と小幅鈍化見込みです。ユーロ圏に比べるとサービス業の水準がやや弱いのが気にあるところ。米国の景況感 は供給管理協会(ISM)によるPMIの3月分がかなり弱く出たこともあり、警戒感が見られます。3月に発生したSVBなど米複数地銀の破綻による影響なども気になるところで、予想を下回ってきた場合は、ドル売りとなる可能性があります。予想通りもしくは予想を超える改善を見せた場合は5月の米FOMCでの追加利上げ期待を押し上げる形でドル高となりそう。ドル円は中期的な目標である135円に向けた動きが期待されます。

山岡和雅 | MINKABU PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。